

平成 21 年度ひょうご障害者スポーツ指導者協議会研修事業

平成 22 年 3 月 22 日、“ひとりでできないこと・みんなのできることを”をテーマに伊丹市アイ愛センターにて実施された研修会に、総勢 40 名強の方々が集まられていた。

13時30分からのアトラクション「車いすダンス 楠の会」では、プログラム上短い時間ながら、優雅で素晴らしいダンスに皆が心奪われた。



続いての13時45分からは、実践報告会として各市からの様々な活動を8名の方々が報告された。

どこの団体も前向きであるが故に大変であると感じたが、活動報告される人の表情や目から躍動感を感じ、阪神間の息吹を確実に感じ取れる時間であったと思えます。



15時からは「阪神地区のネットワークを創る」というフォーラムが実施され、私も意見者として前の席で話をさせて頂いた訳ですが、横のつながりを考える上で、自分が動くことで点が線になり、そこから△や□になり、それが本当の意味でのネットワークになるだろうという理想のネットワークを目標にし、地域がいかに支えていくか、支える人を増やすことも重要であり、その中での情報の共有の必要性を感じた。

まだまだ阪神間は競技団体の横のつながりや、各市の情報の連携や集約が個人単位でのみの情報となっている面が否めなく、今後障害者スポーツの中で、競技スポーツと楽しむスポーツの違いはあるが、方向性の偏りは無くし、楽しむことを基本としたスポーツが提供できるよう、阪神間として何から始める？具体例をどう整理していく？という熱い議論が展開され、今後のネットワークに未来を感じられた有意義な時間であったと思えます。

研修会でお会いした皆様、今後とも共に阪神間を盛り上げていきましょう。